

浦幌民泊体験実習 2013

分野教員：北澤一利／平岡亮／諫山邦子／宮前耕史／添田祥史

釧路校地域教育開発専攻／地域教育分野では、地域とそこに生きる「ひと」にこだわった教員養成に取り組んでいます。その一環として6月13日（木）～14日（金）の2日間にわたり浦幌町で「民泊体験実習」を行い、同分野の2～3年生27名が参加しました。



受入れ農家さんと対面



バスツアー【浦幌発祥の地】

浦幌町では「自ら生活する地域を見つめなおし、魅力と価値を発見することによって、町の発展に貢献する自発的意識を育てる」ことを目的として「うらほろスタイルふるさとづくり計画」を展開しています。この計画の最大の特徴は、町の未来を担っていく子どもを地域づくりの主役と位置付けて、町づくりに向けたさまざまな取り組みが、学校を場として、「総合的な学習の時間」をはじめ正規の教育課程の中で行われているという点にあります。子どもを中心とした、学校から始まるこうした「地域づくり」は全国的にも類例のない、大変先進的な取り組みです。



バスツアー【パラグライダー発着場】



浦幌中学生考案の【浦幌弁当】

これから「地域に根ざした教師」になろうとする私たちには、一体どのような資質や態度、能力が必要とされるのか。そして、それらを身に付けていくためには、どのような取り組みが必要とされるのか。「浦幌民泊体験実習 2013」は、このような事柄を「うらほろスタイルふるさとづくり計画」から実地に学び、考えていこうと実施されたもので、今年で3年目を迎えます。



肉牛体験



受入れ農家さんご家族と一緒に夕食

「浦幌民泊体験実習」では、「うらほろスタイル推進地域協議会」の全面的なご支援のもと、「町内バスツアー」と「民泊体験」を行いました。どちらも浦幌町内すべての小・中学校で授業の一環としてすでに実施されている取り組みです。当日は、浦幌町立博物館（佐藤芳雄館長）のご協力のもと、「町内バスツアー」を行いました。そして、昼食に町立浦幌中学校の生徒が「総合的な学習の時間」に開発した「浦幌弁当」をいただいた後、民泊体験受け入れ先に分宿し、農業体験や林業体験を行いました。



畑作体験



民泊体験終了後の意見交換会

地域教育開発専攻／地域教育分野では、今後も「うらほろスタイルふるさとづくり計画」に参加・協力・貢献させていただきながら、未来の地域社会に「地域に根ざした教師」としてあるために、「地域教育」とは何かを考え続け、その専門性を実践的に高めていきます。